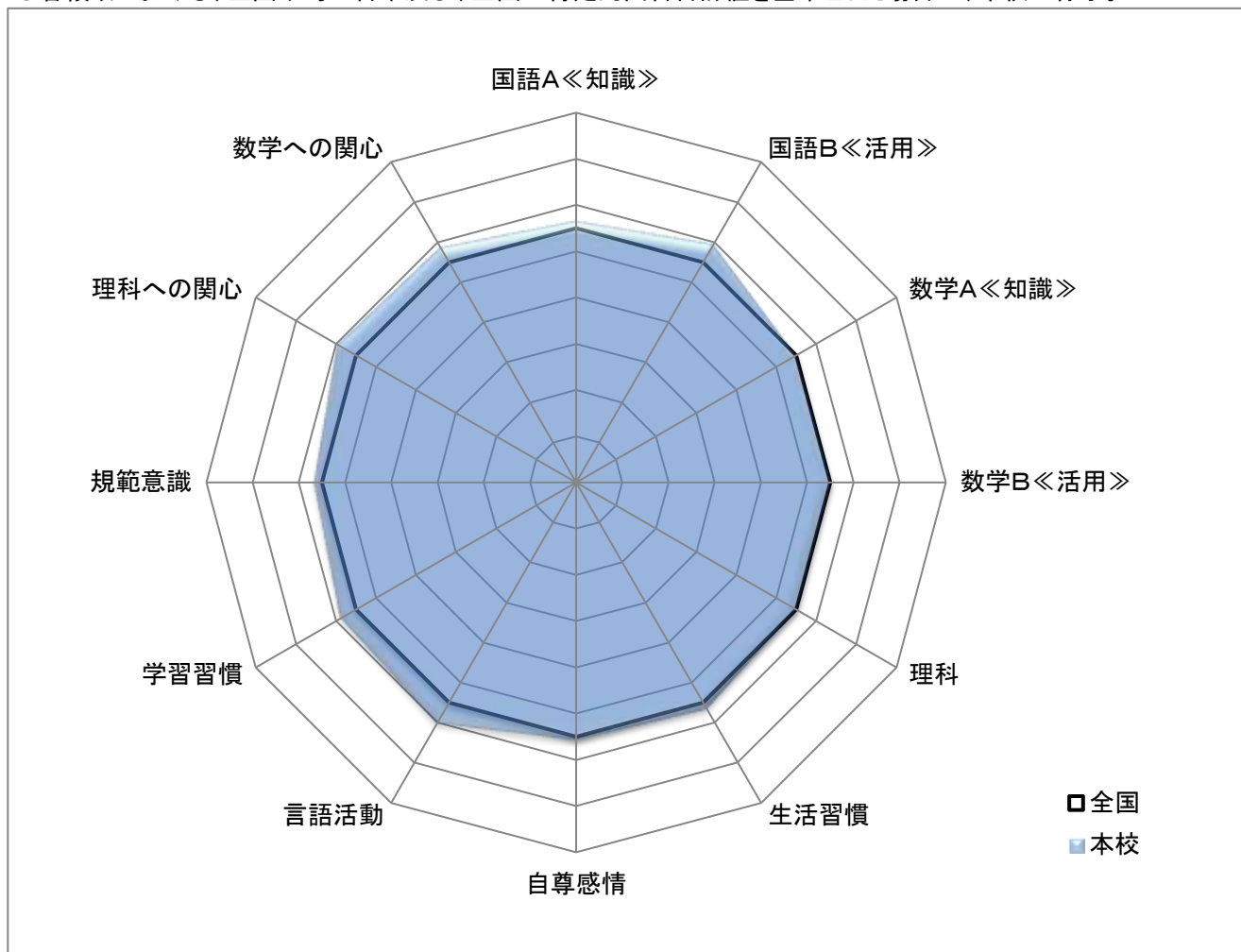


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語は、知識・活用とも全国平均を上回り、特に活用力が高い。  
 数学は、基礎・基本を身に付けている生徒は多いが、それを具体的な場面で活用できる生徒が少ない。  
 理科は、関心については全国平均と比較して高い。正答率については全国平均と変わらない。

《授業改善のポイント》

国語は、今後も生活の中で生きる国語力を身につけるよう、漢字や語句といった基礎・基本を徹底していく。  
 数学は基礎・基本の定着をさらに図り、具体的な場面での活用力を付けていく。  
 理科は、生徒の関心の高さを生かしながら、基礎・基本の定着を図る。

《チャートの特徴》

全体的に全国の平均値を上回っている。  
 特に、各教科への関心や学習習慣、言語活動などは大きく全国平均を上回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習や、eライブラリの活用、図書館等の公共の場での学習を勧めていただきたい。